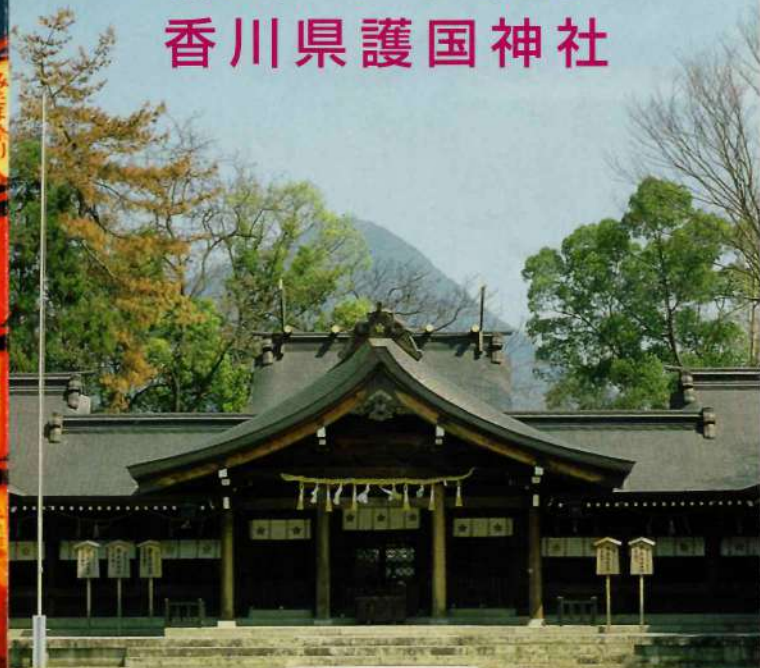


讃岐宮

香川県護国神社



万灯みたままつり

「みたままつり」は、わが国古来からの祖霊信仰で、当社では八月十五日の前後五日間、境内に三千五百の御灯を点し、英霊奉慰のお祭りをし、平和・幸福を祈願致しております。

由来

讃岐宮（香川県護国神社）

例祭
秋季大祭
五月五日
十一月五日

明治維新以来、祖国日本に、貴い身命を捧げて郷土をお守り下さった、香川県御出身の全英霊三万五千七百余柱を祀りしている唯一のお社である。

御英霊は今日の日本の平和と繁栄のいしずえであり、日本人として、一日も忘れてはならない神々である。
明治十年、丸亀駐屯歩兵十二連隊附属地に丸亀招魂社を創設し、維新以来国事殉難者の霊を祀ったが、明治三十一年、旧陸軍第十一師団が当地に新編されたとき、偕行社内には戦没将兵の霊を祀ることとなった。昭和十六年四月現地（文京町）に社殿を造営。

爾来、五月五日を例祭日と定められた。御神霊は瑞枝なす常磐の森に神鎮まりまして、祖国日本の恒久の平和と、県民の幸福をお護り戴いている。

新嘗祭・献茶祭

県下指定神耕田で稔った新穀をお供えし、併せて茶道各流派・薄茶を神前に奉奠し、御祭神をお慰め致します。

当宮献茶祭は茶道各流派元、巨匠等が、奉仕し、境内に二、三席の奉賛茶会が催されます。



史料館

祖国を遠く離れ悪戦苦闘を続けながら戦地から父や妻の安否をきずかい、子の成長を祈る、肉親に対する愛情溢れる手紙や遺書、軍服、あるいは、所属部隊の戦闘の状況を記した書籍などの遺品を通じて日本の真実の歴史を伝える貴重な資料を展示してあります。併せて、家形埴輪、銅剣、土器、石器等、希少な考古学的資料や社宝等を展示しております。





相宮乃木神社 例祭十月三日

日露戦役の旅順攻略で世界に勇名を馳せた、乃木將軍ご夫妻をお祀りしてある。將軍は、明治三十一年十月三日初代第十一師団長として当地に着任以来、文武両道を極めた達識と慈愛深いお人柄に広く慕われていた。將軍神去りまして後、四国四県の町村長が基金を拠出し、昭和十二年全国六社の一社として、ここに「四国乃木神社」を創設した。

相宮先賢堂 例祭十一月二日

明治の末、県教育会長松平頼寿が、高松天神前の県立図書館に先賢堂を建て、讃岐の國開発の大恩人をお祀りした。昭和二十年戦災のため焼失したので、同二十一年秋当地に遷座した。祭神は神櫛王以下、弘法大師・智證大師・菅原道真公・柴野栗山等百三柱である。

交通神社

昭和三十八年十月三日皓々たる仲秋の名月の真夜、交通守護の神々を歓請して御鎮座戴いた。その際、全国交通安全協会長をはじめ、交通関連機関の長等が、起請文を奉奠して神霊のご加護を祈願した。

主な祭典行事予定

歳旦歳	一月一日	午前十時
青少年新春書道展	一月一日～一月十日	
建国祭	二月十一日	午前十時
春季例大祭	五月五日	午前十時三十分
大祓式	六月三十日	午後五時
万灯「みたままつり」 (八月十五日前後五日間)		
※終戦祈念祭	期間中	午後六時三十分から
※夏祭り「日本の太鼓フェスティバル」	八月十五日	午前十一時四十五分
	八月十七日	午後三時～午後九時
奉納神楽・郷土芸能等		

乃木神社例祭	十月三日	午前十時
秋季例大祭	十一月五日	午前十時三十分
七五三	十一月一日～月末	
永代祭	十一月第二日曜日	午前九時～午後五時
新嘗祭・献茶祭	十一月第二三日	午前八時～午後二時
天長祭	十二月二十三日	午前十時
大祓式	十二月三十一日	午後四時

讃岐宮へのご案内



讃岐宮—香川県護国神社—

〒765-0013

香川県善通寺市文京町4-5-5

TEL (0877) 62-0048

FAX (0877) 63-7380

祭儀

期間中

午後六時三十分

●みたままつり斎行

八月十五日

午前十一時四十五分

●終戦祈念祭神賑

●奉納行事

●日本の太鼓

フエスティバル

●アマチュアバンドコンテスト

DEARDUP

●奉納神楽

●吟詠剣詩舞の集(十五日)

●奉納古武道

●郷土芸能等